



Tokyo Gakugei University Repository

東京学芸大学リポジトリ

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

Title	研究の動向
Author(s)	研究部
Citation	国際中等教育研究：東京学芸大学附属国際中等教育学校 研究紀要(1): 73-74
Issue Date	2008-03
URL	http://hdl.handle.net/2309/89466
Publisher	東京学芸大学附属国際中等教育学校
Rights	

研究の動向

研究部

研究活動の目標

- ・ 大学との連携を通じて専門性の高い教育実践および教育活動を行う。
- ・ 他校の研究成果や国内外の MYP 実施校との情報交換を通じてより質の高い、また、国際的に通用する指導が可能となるように努める。
- ・ 校内研究会や教員間の情報交換を通して、国際教養、JSL、イマージョン教育に関する実践・研究をする。
- ・ 教科教育の質を高める専門領域研究や教育研究を推進する。
- ・ 研究の成果を公開授業や研究紀要、学会等で公表する。

研究体制

研究部	研究施策実施に関する支援体制の整備、研究経費予算書作成、校内研究会、研究紀要、附属学校連名 [関附属・全附属]、公開研究会、出版等企画、進路指導、教育実習、海外教育体験生に関する研究等
国際教養委員会	国際教養カリキュラムの作成、国際教養の運営支援、宿泊行事の企画、立案、姉妹校、等
MYP 委員会	MYP 認定に向けての作業 [実施計画案策定、MYP 各教科のカリキュラム開発の推進、MYP 申請書の作成、MYP 認定校への訪問、MYP ワークショップ参加計画の立案、MYP 評価研究]
LE・イマージョン委員会	LE カリキュラムの運営、イマージョンプログラムの作成、教材開発、等
JSL 委員会	日本語指導・JSL プログラムの作成、日本語指導・JSL プログラムの運営、教材開発、等

研究テーマ

「中等教育学校における国際カリキュラムの開発」というテーマで文部科学省特別研究経費（平成 18 年度～平成 20 年度）の交付を受け、以下のカリキュラム開発研究を進めている。

イマージョン教育教材開発

J S L プログラム教材開発

国際教養実践支援教材開発

創造科学実習支援システム開発

多様な食文化理解教育支援システム開発

さらに、世界標準の教育システムの一つである、国際バカロレア機構（International

Baccalaureate) のミドル・イヤーズ・プログラム (Middle Years Programme) の認定校となるため、カリキュラム開発および授業実践を進めている。(2007年12月にA申請校の認定を受けている。)

教員研修

MYP ワークショップ参加

MYP ワークショップ報告およびパーソナル・プロジェクト勉強会の開催

研究結果の公表

研究紀要「国際中等教育研究」第1号の発行

公開授業の実施

- ・「市民性教育における教材開発・学習指導のあり方及びその学習成果の測定・評価方法に関する研究」(東京学芸大学との連携)に関する公開授業(3回)
- ・科学研究費(研究代表吉田明史、奈良教育大学)「分かる数学の授業を構築するための基礎研究」に関する公開授業(3回)
- ・関関連(山梨大会)発表 「東京学芸大学附属大泉中学校における「知的探究」から東京学芸大学附属国際中等教育学校における「国際教養」へ」
- ・L E (Learning in English) の公開授業